

2019年5月17

2019年最初の自然再発見講座は晴天に恵まれ、参加者34名（公民館スタッフ2名）で

楽しい春の散策を行いました。今回のコースは、平尾台広谷湿原から青龍窟を経て、苅田町の等覚寺に至る珍しいコースです。1週間前の下見の時には、ツチグリ、キジムシロの仲間が元気よく生えていたのですが、今日は、姿を消していました。その代わりに、クララ、オカオグルマ、コウ



ゾリナ、カノコソウ、タツナミソウ、ソクシンランなどが元気よく成長していました。広谷湿原から下った所にある鬼の唐手岩下では、マグマの影響が大きいため結晶が大きく育った石灰岩を観察。山伏が修行した滝を通り、ステゴドン、ナウマンゾウの化石が発見された青龍窟付近で昼食。青龍窟にも行者の神棚がまつられていました。昼食後は、等覚寺への下



り道です。古代の山伏古道も通り、山伏が開いた等覚寺の棚田へ到着。ちなみに苅田町側の平尾台は古来、普智山という英彦山6峰の一つで山伏の拠点だったそうです。等覚寺の棚田では、地域おこし協力隊の方がご夫妻で経営している「天空カフェ」でコーヒーを飲みながら店主のお話を聞いて盛り上がりました。観光の目玉にと、棚田に植え始めたフジバカマの苗も売っていただき、アサギマダラが来るのを楽しみに帰路につきました。

(久保田、宮本、野見山)

野見山記